

## 南相馬市立大甕小学校 実践研究テーマ「互いに認め合い、学び合いながら、協働して解決する子どもの育成」

### 学校教育全体で取り組むために大切にしたこと

- 子どもを見取る視点の共有化と可視化
  - ・ キャリア教育全体計画の見直しと改善
  - ・ キャリアカレンダーの掲示
- 子ども主体の視点からの学校行事の意義の見直し
  - ・ キャリア教育年間計画の作成



キャリアパスポートの活用、キャリアカレンダーの作成等で自己を見つめる機会を定期的に設けるようにした。

- キャリア教育年間計画を作成・改善することで、身に付けたい4つの力の育成がどの教育活動で位置付けられるかを明確にした。学習発表会では、人間関係形成・社会形成能力の育成に重点を置いて指導にあたることができた。



- アンケートを実施したところ、基礎的汎用的能力の4つの身に付けたい力の中で課題対応能力とキャリアプランニング能力に課題があることが分かった。

そのため、授業においては「主体的・対話的で深い学び」の実現に努めるとともに、

### 特別活動の取組について(実践研究発表会)

- 議題名「2年生なかよしパーティーをしよう」第2学年 学級活動(1)
- ねらい
  - ・ クラスの仲がより深まる集会になるように、提案理由やめあてに沿った自分の意見を考えて発言したり、友達の意見をよく聞いたりして話し合うことができるようにする。
- 概要
  - ・ 自分もみんなも楽しめる遊びや活動であることに留意して話し合うことを通して、課題解決能力や人間関係形成・社会形成能力の育成を図るようにした。



- 事前に学級会ノートに自分の考えを書くことで話し合いに沿った意見や理由が多く出た。また、議題設定の理由で「みんなで仲よくできるもの」という話し合いの視点を明確にすることで、合意形成に向けた話し合いができた。

- 話し合う、くらべる、まとめるのどの段階の話し合いをしているのかを示す学級会用の掲示物等を活用することにより、いま何をしている段階なのか、どの意見に対して賛成や反対の意見が出ているのかが分かりやすくなった。



## 南相馬市立大甕小学校 実践研究テーマ「互いに認め合い、学び合いながら、協働して解決する子どもの育成」

### 特別活動の取組について(実践研究発表会)

- 議題名「みんなが主役のスポーツ大会をしよう」第6学年 学級活動(1)
- ねらい
  - ・ 学級の全員が主役として楽しみ、思い出になる集会になるように、提案理由やめあてに沿った発言をしたり、友達の意見をよく聞いたりして合意形成することができるようにする。
- 概要
  - ・ 自分がやりたい活動だけでなく、自分もみんなも楽しめるような活動や工夫を考えていくことを通して、人間関係形成・社会形成能力の育成を図るようにした。



- 計画委員による話し合いや事前のシートの作成、短冊の準備などの一切を児童が行うことで、計画委員の主体性が高まり、司会や書記の役割に意欲的に取り組む姿が見られた。
- 教室内に議題や提案理由、決まっていることなどを掲示することで、話し合いの見通しを持つことができた。

- 提案理由にある「みんなが主役」の意味を全体で考えたことで、提案理由を大切にしながら話し合いを行うことができた。
- 事後の活動では、決まった系の活動に精一杯取り組みながら、楽しく活動できた。振り返りでは、学級会で考えた工夫のよさに気付いたり、次回に向けての課題を見つけたりすることができた。



### 実社会や地域とつながるキャリア教育

#### ～地域や高等学校との連携による教育活動～



- さつまいも栽培
 

地域学校協働事業の一環として、地元に住む異世代の方々と一緒にさつまいもの栽培を行った。地元の方々の温かさに触れ、人と関わることのよさや地域への興味や関心をもつことができた。

- 専門高校生による小中学生体験学習

本校の5・6年生の児童が小高産業技術高等学校の生徒のみなさんに教えてもらいながら、様々な体験活動を行った。

活動の振り返りでは、「自分で考える、自分で実行するということがどういうことかわかった」

「電気や建築関係に興味をもった」「小高産業技術高校のみなさんがすごい」など、生き方や仕事について考えたり、高校生への憧れの気持ちをもったりすることができた。



- 研究のまとめ

11月のアンケート結果では、課題となっていた課題対応能力とキャリアプランニング能力について改善が見られた。ただし、「将来の夢を叶えるための方法を考えていますか」の質問では6月より下がっていた。キャリアパスポートの活用、キャリアカレンダーの作成等の内容を見直し、将来に向けて自己を見つめる機会もつくっていききたい。また、次年度以降も授業における主体的・対話的で深い学びの実現に努めていくとともに、学校や学級等の小さな社会で一人一人が役割を果たす活動を大切にすることで、キャリア教育のさらなる充実を図っていききたい。